演習Ⅱ

担当者 西嶋　淳

開講時期 通年　　**単　位** 8

●講義の概要

研究テーマに即して、実地調査、実証分析の実践や関連先行研究についての批判的検討などを行いながら、修士論文作成のための個別指導を行います。

●講義の到達目標

地域政策学分野の修士論文を作成するために必要とされる基本的な研究能力を習得するとともに、質向上に寄与するように経済分析手法を活用できるようになる。社会、経済事象に関する問題点について適切に論述できるようになる。これらにより、学術研究として一定の水準をもつ修士論文を完成させることを目標とします。

●講義計画

具体的な講義日程等については、受講生と相談のうえ決定します。

基本的には、前期は、実地調査、実証分析のためのデータ収集・整理、関連先行研究についての批判的検討などを行いながら、修士論文の骨格を固めて行きます。後期については、前半は、中間報告会に向けて根拠資料の整備を進めながら分析・考察内容を充実させて行きます。後半は、中間報告会での指摘事項や反省点を踏まえ、根拠資料の補充、考察内容の精査、文章表現の見直しなどを進めて修士論文を完成させます。

●成績評価基準と方法

① 評価方法

報告・発表（30%）、討論および修士論文（70%）により評価します。

② 評価基準

・地域政策学分野の修士論文を作成するために必要とされる基本的な研究能力を習得しているか。
・修士論文の質向上に寄与するように経済分析手法を活用しているか。
・社会、経済事象に関する問題点について適切に論述しているか。
・地域政策学分野の学術研究として一定の水準をもつ修士論文を執筆しているか。

●テキスト又は参考文献

－テキスト－

使用しません。

－参考文献－

講義中に適宜指示します。

●受講上の留意点

・指示に従い、講義時に円滑に報告ができるようレジュメ等を準備して下さい。
・関連分野の学会・研究発表会への参加など、積極的な取り組みを希望します。